



第 19 回

平成 28 年 12 月 5 日

No.1410

会 長 吉 良 昌 一

幹 事 穂 田 英 一 郎

例会日 / 毎週月曜日 12:30~

例会場 / トキハ会館 4F

TEL 097-532-0611

FAX 097-532-8386

会長スローガン

「誠心誠意」

Email : oita1985rc@mist.ocn.ne.jp

ホームページ : www.oita1985rc.jp

人類に
奉仕する
ロータリー2016-17年度
国際ロータリーのテーマ「人類に奉仕する
ロータリー」R I 会 長
RI第2720地区ガバナー
大分第4グループガバナー補佐ジョン・ジャーム
前 田 眞 実 隆
工 藤

■ 本日のプログラム (12月5日)

12:30	点	鐘	
	会	食	
	ロータリーソング		「奉仕の理想」
	ゲスト・ビジターの紹介	会 長 吉 良 昌 一	
	会長の時間	会 長 吉 良 昌 一	
	出席報告	出席担当 大久保 修身	
	幹事報告	幹 事 穂 田 英 一 郎	
	ニコニコタイム		高 野 太
13:00	年次総会	～次年度の役員・理事の発表～	

■ 第18回例会の記録 (11月28日)

「インフルエンザについて」 藤本 保 会員

・出席報告 (11月28日)

会 員 総 数	16 名
11 月 28 日	
出 席 免 除	2 名
出 席 会 員 数	10 名
出 席 率	66.67 %
ゲ ス ト	0 名
ビ ジ タ ー	34 名
(サインのみ受付)	
11 月 14 日	
修 正 出 席 率	87.50 %

〈例会予定〉

12月12日 (月) クラブ協議会 上期の取組

12月20日 (火) クリスマス例会

※ホルトガーデンにて 18:30~

ロータリーソング

【奉仕の理想】

奉仕の理想に集いし友よ	めぐる歯車いや輝きて
御国に捧げん我等の業	永久に栄えよ
望むは世界の久遠の平和	我等のロータリー

会長の時間 (12月5日) 会 長 吉 良 昌 一

1941年12月8日

日本にとって太平洋戦争はまだ終わっていないような気がいたします。

米国は2度の原爆投下を経て太平洋戦争に完全勝利し、半世紀以上経った2001年にアメリカ同時多発テロ事件が起こった際に、このテロを真珠湾攻撃と同様のものだと強調する言論が多く見られました。この奇襲攻撃ほどアメリカ人の精神に拭い切れないものを残したものでしょう。

日本はNo more Hiroshima 広島悲劇を二度と繰り返すな。米国はRemember Pearl Harbor 真珠湾攻撃を忘れるな。改めて考えると日本が負けたからこそ今の日本があるのだと思います。もし勝っていたら。米国海兵隊が沖縄に駐留してなかったら。

さて、この太平洋戦争末期、連合軍が日本に降伏を進める「ポツダム宣言」を決めた御前会議の構成メンバー6人中3人が大分県人であったことを知る人は少ないのでは、竹田市出身の阿南惟幾 (これちか) 陸相。この阿南大將は終始「本土決戦」を主張していました。降伏に反対する将校らによるクーデター計画がありましたが、「行動するときは全軍一致」を強調する阿南大將に対する信頼でクーデターが抑えられた。

梅津美治郎 (よしじろう) 参謀総長は中津、豊田副武 (そえむ) 軍指令総長は杵築、さらに降伏文書調印式において、梅津と共に署名を行ったのが杵築「豊後大野生まれ」の重光葵外相でした。その中でも阿南大將は武士道の作法に倣っての切腹自殺は、戦争継続の陸軍を一気に戦争終結に向かわせた話は有名であります。

今の時代「切腹なんて、野蛮だ命を無駄にするな」と思われますが、責任逃れの指導者と比べると私は軍人として立派な責任の取り方を取ったと思います。

今の日本、武士道の精神を大事にして行ってもらいたいと思います。

インフルエンザ Q&A

Q1. インフルエンザワクチンは生後何ヶ月から接種することができますか？

- A. 薬事法上、インフルエンザワクチン接種年齢の下限は規定されていませんが、通常は米国にならって、インフルエンザにかかると重症化するリスクの高い生後6ヶ月から接種しています。

Q2. 小児におけるインフルエンザワクチンの用法・用量が変更になった理由と有効性・安全性、接種上の注意について教えてください。

- A. 2011/12シーズンから小児のインフルエンザワクチン接種量は、海外の標準接種量である3才未満0.25ml、3歳以上0.5mlとなりました。接種量の増加により免疫原性が高まりましたが、副反応出現率は特に増加していません。

Q3. インフルエンザワクチンの接種回数と2回接種の場合の接種間隔についての考え方を教えてください。また、接種時期はいつがよいでしょうか？

- A. 季節性インフルエンザワクチンは65歳以上の高齢者に対して、通常、1回接種が推奨されています。それは、1回接種でインフルエンザ罹患時の重症化予防、インフルエンザによる死亡を予防する効果が検証されているからです。
- 一方、13歳以上65歳未満の方については、1回か2回かの判断が接種医に委ねられています。近年のインフルエンザ罹患歴、インフルエンザワクチン接種歴を勘案して決められますが、1回の接種で一定の効果が得られると考えられていることから、13歳以上は1回接種とされています¹⁾。
- 2回接種の場合の間隔は1~4週間(13歳未満は2~4週間)とされていますが、できるだけ3~4週間の間隔を空けて接種したほうが免疫の獲得はよいといわれています。
- 適切な接種時期は10~11月で、遅くとも12月中旬までに接種を完了していることが望まれます。また、間に合わず発症してしまう可能性が十分に考えられますが、インフルエンザ流行期でもワクチンを接種することはできます。

1) 厚労省ホームページ インフルエンザQ&A・Q21より。

Q4. インフルエンザワクチン接種にあたって、注意すべき副反応とその対処方法について教えてください。また、よりよい接種の方法はありますか？

- A. インフルエンザワクチン接種後の主な副反応は、接種局所の発赤や腫脹が接種翌日に認められることが多いようです。再接種の考え方や局所反応を少しでも軽減できる接種方法を考えました。

Q6. 高齢者へインフルエンザワクチンを接種する意義と、接種に際して注意すべき点を教えてください。

- A. 高齢者は、加齢に伴う種々の臓器機能の低下とともに、様々な疾患に罹患していることが多く、これにインフルエンザを合併すると、急速に病態が悪化し、死亡に至ることも少なくありません。一方で高齢者は、過去にインフルエンザを含む様々な感染症に罹患して免疫学的記憶が蓄積されている方々です。このため、ワクチンによって免疫力を高め、インフルエンザ罹患による病態の悪化を軽減できれば、これに越したことはありません。また、ワクチン接種後にみられる異常な症状や急死が、原疾患の増悪や突発した疾患の影響か、ワクチンの副反応かの判定に惑わされることの多い年齢層です。これらの点が、高齢者にインフルエンザワクチンを接種する際の注意点につながってきます。

ニコボックス

★小野 三八男会員 (自主2口)

大分市内8クラブのゴルフコンペに出席出来ませんでしたのでニコボックス 2口致します。

★藤本 保会員 (自主2口)

公的仕事が増えています。今回、日本医師会の学校保健委員会委員長になりました。忙しいことを理由にはしませんが、同時に二つのことは出来ずロータリーのお役にたてそうにありません。

★高橋 道成会員 (自主1口)

前日新入会員の研修に参加して来ました。

他会の会長さんから時間の使い方についてご教授して頂き大変勉強になりました。

ありがとうございました。